

## 町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 23 年 12 月 8 日（木） 午後 7 時～午後 8 時 55 分

場 所：ウォーキングセンター

対 象：下高岡地区

参加人員：26 人

Q：下水道にはいつ接続できるのか。また、既設管に水もたまっているので、メンテナンスをする必要があるのではないか。

A：現在、処理場予定地周辺の同意が得られるよう努めている。男井間池と女井間池の耐震も検討しつつ、終末処理場の建設に着手できるよう努力しているのでお待ちいただきたい。メンテナンスは、供用開始する前に実施したい。

Q：百眼百考会議の公募委員を増やしてほしい。また、三木町在住の人を選んでほしい。

A：委員の選考は、見直しが必要と考えている。できるだけ町民を選ぶようにしたい。また、来年度はテーマを小さく絞って議論していただくようにしたい。

Q：太陽光発電の設置補助を考えてほしい。

A：今年度、県が再開したことを受け、本町でも来年度から補助制度を設ける。

Q：町議会をネット配信して、議会をオープンにしてほしい。

A：町議会の意向を聞いてやらないといけないが、時代的には必要かなと思う。

Q：告示文書をホームページに掲載できないか。

A：検討させていただく。

Q：コミュニティバスはあまり乗っていない。年間費用、1日運行便数、年間乗車人員、1日あたり乗車人員、1便あたり乗車人員を教えてください。

A：コミュニティバスは高齢者には欠かせない存在である。運行を大川バスに委託しており、委託料は500万円超である。1日3コース15便運行で、年間約13,000人、1日平均50人強、1便あたり3.5人ほどである。

Q：コミュニティバスの走っていない地区もある。公平にしないとけない。バスは受益者負担と考える。1人あたり費用がどれぐらいかかっているのか、情報を町民に知ってもらう必要があるのでは。

A：現状公平性は保ててないが、今のバスが山に上がることは物理的に無理なので、10人乗りぐらいの小型バスを検討する必要がある。また、福祉の面からバスは受益者負担だけではやれない。健康な人が高齢者を助けるのが高齢者福祉だと考える。

Q：利用者の都合でデイサービスの利用ができなくても、キャンセル料を取るところがあるが、おかしい。また、デイサービスは機能回復だけを目的にやればいいと思う。そして若い人の介護保険料を減らしてほしい。介護保険の内容を公開して、保険料の抑制を図るべきだ。

A：町が把握できるのはあけぼの荘だけだが、そんなことはないはずである。

Q：公図が現況と大きく異なっている。道がついていても公図に載っていない。費用はかかると思

うが国土調査をしてほしい。

A：不便をかけているが、一部しかできていない。ただ、国土調査には莫大な費用や人的手間を要する。

Q：先延ばしではなく、どこからでもいいからかかってほしい。

A：今は下水道事業に力を注いでいるので、ご了解いただきたい。

Q：広報 12 月号の財政情報を見たが、よくわからない。三木町の財政は良いのか、普通か、悪いのか。

A：今は健全だが、下水道事業の進捗によっては悪くなる可能性があるので楽観できない。

Q：下水道事業を着工していないところは意見聴取をすると言ったが、実態を正確に知らせ、公正に決めてほしい。

A：合併処理浄化槽の補助もするし、その維持管理についても補助するようにしていきたい。

Q：白山の自主防災組織では、加入している全家庭に火災報知機をつけたが、その後で無料設置の制度ができた。既についているところにもつけてもらえるのか。また、65 歳以上の高齢者が複数いる家庭にはつけてくれないのか。

A：既に設置されていても設置することはできる。しかし、設置は独居老人の家庭に限る。2人以上の世帯の機器購入の手伝いはするが、費用は全額負担していただく。

Q：馴れ合いもいけないので、各施設の館長の配置換えを考えてはどうか。

A：配置換えは考えている。

Q：子どもが外で遊べる環境ではない。子どもが遊べて大人が見守れるような公園を考えてほしい。

A：時間はかかるかもしれないが、公園の少なさは解消しないといけないと考えている。

Q：団地内道路が個人所有の公衆用道路の場合、町は面倒を見てくれるのか。

A：公費で修繕はできない。道路を町へ寄附していただき、町道認定されたら町が管理できる。

Q：同じ事例で、以前町道認定してもらいに役場に行ったらできないと言われたが。

A：行き止まりの道や、町道に抜けない道は認定できない。

Q：町道に接続しているが、三木町ではやっていないと言われた。

A：条件から言えばできると思うが、確認して回答したい。

〔 後日、該当する道路は認定基準に概ね適合するので、職員が説明に伺う旨、回答。 〕

Q：新川に砂が堆積しているので、取水堰の砂を除けた。砂が入らないよう県に要望してほしい。現状では大雨の度に除けないといけない。

A：順次行っている河川改修で固定堰を可動堰にすると、砂が流れると思う。時間はかかるが順次進めていきたい。

Q：山林整備に来年からは経営計画を立てないと補助が出ないようだ。計画を立てるにあたって、

森林組合に任せるのではなく、町も広報してほしい。

A：町から知らせるべきことは知らせるようにしたい。

Q：夜間道が暗い。パトロールをして暗いところには街灯を設置してほしい。

A：防犯灯は稲の害虫などが寄ってきたり、稲の生育に影響があることから周辺の同意が必要である。地元から要望のあったところに設置する体制である。

Q：街灯はもう少し低いところにつけて道だけ照らすと良い。また、虫が寄ってこない LED 照明もあるらしい。検討が必要なのでは。

A：低いところに設置するとたくさん設置しないといけないといけなくなりそう。また、破損されやすくなるだろう。虫が寄らない照明については調べてみる。